

4. 活動報告

4.1 九都県市首都直下地震対策研究協議会

首都直下地震による被害軽減を目的として、九都県市の行政職員と首都直下地震防災・減災特別プロジェクトの研究担当者が「協働」で、地域の防災力の向上を図るための研究会として「九都県市首都直下地震対策研究協議会」を設立し、原則毎月1回定例研究会を開催した。

4.1.1 第29回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年4月15日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 2F レクチャールーム2・3・4

議事次第・発表者

東日本大震災をどのようにとらえ、復興に向けてどのように取り組むべきかについての戦略構築を目指す。そのため次の5点について話し合い、情報共有の試みを継続していく。

- ①災害復興の理念
- ②被災地の復興のあり方
- ③包括的な被災者支援
- ④エネルギー対策
- ⑤全国規模での災害対応の推進

発表者

1. 京都大学防災研究所 教授 林 春男
2. 株式会社岩崎敬環境計画事務所 岩崎 敬
3. 京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男
4. 名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻 教授 渡辺研司
5. 第一生命保険（株）公法人部 顧問 武田文男
6. 日本社会事業大学 専務理事 宇野 裕
7. 財団法人日本法制学会 理事長 沢野次郎

4.1.2 第30回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年5月20日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 2F レクチャールーム2・3・4

議事次第・発表者

「“災害原因の科学調査（FORIN）”手法を用いた東日本大震災の検証」

発表者

1. 京都大学防災研究所 教授 林 春男
2. 京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男
3. 富士常葉大学大学院 環境防災研究科 教授 重川 希志依
4. 第一生命保険（株）公法人部 顧問 武田文男
5. 関西大学 社会安全学部 准教授 林能成
6. 日本社会事業大学 専務理事 宇野 裕

4.1.3 第31回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年6月17日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 2F レクチャールーム2・3・4

議事次第・発表者

「“災害原因の科学調査（FORIN）”手法を用いた東日本大震災の検証」

発表者

1. NTT サービスインテグレーション基盤研究所 主任研究員 東田光裕
2. 大分大学 教育福祉科学部 准教授 山崎栄一
3. 第一生命保険(株) 公法人部 顧問 武田文男

4.1.4 第32回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年7月15日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 2F レクチャールーム2・3・4

議事次第・発表者

「“災害原因の科学調査（FORIN）”手法を使った東日本大震災最初の100日の検証」

発表者

1. 第一生命保険(株) 公法人部 顧問 武田文男
2. (株)岩崎敬環境計画事務所 代表取締役 岩崎 敬

4.1.5 第33回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年9月16日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

議事次第・発表者

- ①富士常葉大学大学院 環境防災研究科 教授 田中 聡

「建物被害認定調査について」

- ②株式会社イー・アール・エス リスクマネジメント部 副部長 鱒沢 曜

「非木造集合住宅の被害認定調査について」

- ③株式会社インターリスク総研 研究開発部 主任研究員 堀江 啓

「地震火災による被害認定調査について」

- ④富士常葉大学大学院 環境防災研究科 教授 重川希志依

「大規模災害時における広域応援体制について」

4.1.6 第34回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年10月21日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

議事次第・発表者

「被災者台帳を用いた生活再建支援システム」

～報告：豊島区民参画による実証実験～

- ①新潟大学 危機管理室/災害・復興科学研究所 教授 田村圭子
「豊島区実証実験の概要/事前研修とマネジメント訓練」
- ②(株)インターリスク総研 研究開発部 主任研究員 堀江 啓
「建物被害認定調査訓練と訓練マネジメント」
- ③新潟大学 災害・復興科学研究所 助教 井ノ口 宗成
「豊島区実証実験～り災証明書発行訓練の実態と評価～」
- ④兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 木村玲欧
「事前研修と実証実験に関わる評価」

4.1.7 第35回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年11月18日（金）15:00～17:00

開催場所：専修大学神田キャンパス1号館地下1階14教室

議事次第・発表者

世界最大規模の防災訓練 アメリカ「Shake out」日本版の実施に向けた
公開講演会

- ①南カリフォルニア地震センター マーク・ベンセン
「アメリカ Shake out とは」
- ②京都大学防災研究所 教授 林 春男
「日本版 Shakeout 実施に向けて」
- ③東京大学地震研究所 教授 平田 直
「最新の地震研究の成果をふまえての首都圏地震シナリオ」

4.1.8 第36回九都県市首都直下地震対策研究協議会

開催日時：平成23年12月16日（金）13:30～16:30

開催場所：有明の丘基幹的広域防災拠点 1F 本部会議室

議事次第・発表者

- ①山梨大学大学院 医学工学総合研究部 准教授 秦 康範
「広域的情報共有と物資調達・配送のあり方」
- ②東京大学生産技術研究所 助教 沼田宗純
「病院を対象としたトリアージ支援システムの開発-大規模災害医療活動に
おける情報共有システムとして-」

4.2 首都直下地震に関わる政策検討会

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクトサブプロ③広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」では、各課題についてそれぞれが研究を実施するとともに、研究者ならびに関係者による全体ワークショップを継続的に実施し、首都直下地震発災後における復興までのロードマップ作りを実施してきた。その過程で、復興に至るまでの根本問題の解消には、法制度を含めて現行の防災政策の枠組みでは、対応できない、もしくは、迅速かつ効果的な対応が望めない可能性がある事象が多数存在することが明らかとなってきた。

そこでこの課題について幅広くかつ実務的に検討し、わが国における「広域危機管理・減災体制」の実現に向けて、具体的な提言をまとめるため「首都直下地震に関わる政策検討会」を設立し、平成 23 年度は 3 回開催した。

4.2.1 第 4 回首都直下地震に関わる政策検討会

開催日時：平成 23 年 5 月 18 日（水）15:00～17:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室 1・2 品川インターシティ A 棟 27 階

議事次第・発表者

①京都大学防災研究所 教授 林 春男

「はじめに」

②中央大学 総合政策学部 教授 阿部泰隆

「首都直下型大地震対策、むしろ、原発、津波、テロ、東海地震などの大災害対策」

③全体討議

4.2.2 第 5 回首都直下地震に関わる政策検討会

開催日時：平成 23 年 11 月 24 日（木）13:30～16:30

開催場所：全国町村会館 第三会議室

議事次第・発表者

①大分大学 教育福祉科学部 准教授 山崎栄一

「はじめに」

②慶應義塾大学 法学部 教授 小山 剛

「震災と憲法」

③全体討議

4.2.3 第 6 回首都直下地震に関わる政策検討会

開催日時：平成 24 年 1 月 26 日（木）13:00～17:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室 2・3 品川インターシティ A 棟 27 階

議事次第・発表者

①大分大学 教育福祉科学部 准教授 山崎栄一

「はじめに」

②東北大学 名誉教授 生田長人

「災害対策法制の見直しの視点」

③名古屋大学 法科大学院 教授 下山憲治

「低頻度大規模災害と災害対策法の課題ーリスク法の視角からー」

④全体討議

4.3 首都直下地震による経済シナリオ検討会

首都直下地震がもたらす経済的被害は直接間接含め 112 兆円と推計されているが、そのことが国内外の実体経済に具体的にどのような影響を及ぼすのかについては必ずしも具体

的に明らかになっていない。すでに本プロジェクトの成果の一つとして、経済復興プロセスに関するシナリオを取りまとめている（永松・林 2010）ものの、金融システムに被害が生じるケースが検討されていないこと、海外市場への影響がシナリオに含まれていないこと、現在作成されているシナリオについて必ずしもエコノミストらの合意が得られていないことなどの問題がある。

そこで、この検討会では、主に経済学者、エコノミスト、市場関係者、経済財政担当官僚らエキスパートの協力を得て、現在のシナリオをさらに拡張し、様々な角度から検証することによって、首都直下地震対策や経済財政運営の政策担当者ならびに市場関係者の共通認識となり得るようなシナリオの構築を目指す。

4.3.1 第1回首都直下地震による経済シナリオ検討会

開催日時：平成23年7月28日（木）13:30～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

①京都大学防災研究所 教授 林 春男

「はじめに」

②関西大学 社会安全学部 准教授 永松伸吾

「検討会の趣旨説明とこれまでの研究成果」

③三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員 片岡剛士

「首都直下地震の経済的影響-東日本大震災の影響から-」

④質疑応答、全体討議

4.3.2 第2回首都直下地震による経済シナリオ検討会

開催日時：平成23年8月25日（木）13:30～16:30

開催場所：関西大学東京センター 会議室 サピアタワー9階

議事次第・発表者

①関西大学 社会安全学部 准教授 永松伸吾

「はじめに、前回までの振り返り」

②マネックス証券株式会社 チーフエコノミスト 村上尚己

「首都直下地震と金融市場のシナリオについて」

③一橋大学経済研究所 准教授 小黒一正

「首都直下地震と財政シナリオについて」

④全体討議

4.3.3 第3回首都直下地震による経済シナリオ検討会

開催日時：平成23年9月20日（火）13:30～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

①京都大学防災研究所 教授 林 春男

「はじめに」

- ②関西大学 社会安全学部 准教授 永松伸吾
「前回までの振り返り」
- ③駒澤大学 経済学部 准教授 飯田泰之
「震災は需要ショックか供給ショックか」
- ④モルガン・スタンレーMUFG証券(株) マネージング・ディレクター 赤井厚雄
「首都直下地震と不動産市場のシナリオについて」
- ⑤全体討議

4.3.4 第4回首都直下地震による経済シナリオ検討会

開催日時：平成23年10月4日（火）13:30～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ①関西大学 社会安全学部 准教授 永松伸吾
「はじめに、前回までの振り返り」
- ②(株)日本総合研究所 調査部長 山田 久
「東日本大震災の影響と首都直下型地震への含意
～雇用と地域経済の観点を中心に～」
- ③パークレイズ・キャピタル証券(株) ウェイク・プレジデント 佐柳恭威
「金融機関の役割とBCM」
- ④全体討議

4.3.5 第5回首都直下地震による経済シナリオ検討会

開催日時：平成23年11月15日（火）13:30～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ①関西大学 社会安全学部 准教授 永松伸吾
「はじめに、前回までの振り返り」
- ②名古屋工業大学大学院 工学研究科社会工学専攻 教授 渡辺研司
「サプライチェーン及び金融・決済システムの脆弱性」
- ③日本銀行決済機構局 参事役 鎌田沢一郎
「決済システムの役割と東日本大震災時の対応」
- ④全体討議

4.4 成果発表会

4.4.1 第4回成果発表会（下記のプログラムのとおり）

文部科学省 「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」
サブプロジェクト③「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」
第4回 研究成果発表会

2012年2月24日 10時～17時
帝国ホテル東京 本館4階 桜の間

10:00-10:10 開会挨拶

京都大学防災研究所 教授 林 春男
文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長 寺田博幹

10:10-11:00 広域的情報共有と応援体制の確立

東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

11:00-11:50 相互に関連したライフラインの復旧最適化に関する研究

11:00-11:10 チームの研究総括

千葉大学大学院工学研究科 教授 山崎文雄

11:10-11:25 首都圏の上下水道のデータ構築と被害予測

鹿島技術研究所 上席研究員 永田 茂

11:25-11:45 東日本大震災におけるライフライン被害と今後の課題

岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 能島暢呂

11:45-11:50 質疑

13:20-14:00 効果的な行政対応態勢の確立：一元的危機管理対応体制の確立

13:20-13:30 チームの研究総括

富士常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川希志依

13:30-13:55 被害認定調査支援システムの開発

富士常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡

13:55-14:00 質疑

14:00-14:40 効果的な行政対応態勢の確立：地域・生活再建過程の最適化に関する研究

14:00-14:10 チームの研究総括

明治大学大学院政治経済学研究科 特任教授 中林一樹

14:10-14:35 個別の研究報告

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構人と防災未来センター 研究主幹 紅谷昇平
 東京大学社会科学研究所 准教授 佐藤慶一
 明治大学専門職大学院長、ガバナンス研究科長 市川宏雄
 東京大学生産技術研究所 准教授 加藤孝明
 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 准教授 市古太郎

14:35-14:40 質疑

14:50-15:30 東京都における「被災者台帳を用いた生活再建支援システム」の実証実験

14:50-14:55 概要

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

14:55-15:10 東京都実証実験の成果

(株)インターリスク総研研究開発部 マネジャー・主任研究員 堀江 啓

15:10-15:25 岩手県被災者台帳への展開

新潟大学災害・復興科学研究所 助教 井ノ口宗成

15:25-15:30 質疑

15:30-16:10 効果的な行政対応態勢の確立：効果的な研修・訓練システムの確立

15:30-15:35 概要

京都大学防災研究所 教授 林 春男

15:35-15:50 首都直下地震に特有な社会的・政策的ニーズを満たす方策の検討

大分大学教育福祉科学部 准教授 山崎 栄一

15:50-16:05 首都直下地震ジオポータルの開発

京都大学防災研究所 助教 鈴木進吾

16:05-16:10 質疑

16:20-17:00 総合討論「首都直下地震：残された課題」

討論者：当日の発表者+ 聴衆

4.5 対外発表

4.5.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
東日本大震災液状化被害による建物被害認定調査プロセスの分析 (ポスター)	重川希志依	地域安全学会研究発表会	2011年11月	国内
水害における建物被害認定調査の実際 (ポスター)	田中 聡	地域安全学会研究発表会	2011年11月	国内
東日本大震災液状化被害による建物被害認定調査プロセスの分析-千葉県浦安市を例として-	重川希志依 田中 聡	地域安全学会梗概集 No.29(2011)	2011年11月	国内
水害における建物被害認定調査の実際-H22年小山町水	田中 聡 重川希志依	地域安全学会梗概集 No.29(2011)	2011年11月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
害、東日本大震災、H23年新潟・福島豪雨災害-				
災害対応としての建物被害調査における情報共有化手法の提案、(その1)応急危険度判定と被害認定調査結果の比較	久下康太朗、堀江啓、浦川豪、田村圭子	日本建築学会大会	2011年8月	国内
災害対応としての建物被害調査における情報共有化手法の提案、(その2)応急危険度判定情報を活用するための調査支援ツールの開発	堀江啓、久下康太朗、浦川豪、田村圭子	日本建築学会大会	2011年8月	国内
Pre-disaster planning for post-disaster recovery in Tokyo - Case study in Nerima Wards - (口頭)	Taro ICHIKO, Jin Yoshikawai and Itsuki Nakabayashi	11th International Congress of Asian Planning Schools Association, E-6-1	2011年9月	国際
『いま、ここ』で始める事前復興まちづくり	市古太郎	ひょうご震災記念21世紀研究機構、『災害対策全書4 防災・減災』, ぎょうせい, pp.98-101	2011年5月	国内
「自主防災組織の活動特性を踏まえた連携実績と連携ニーズに関する調査-東京都町田市を対象に-	市古太郎、磯打千雅子、土屋依子、村上正浩	地域安全学会論文集 No.13 pp.405-414	2011年10月	国内
未経験の復興状況に対応するための事前準備:復興イメージトレーニング手法の構築-埼玉県における取り組み-	加藤孝明・中村仁・廣井悠・佐藤慶一	都市計画学会学術研究論文集46, 913-918,	2011年11月	国内
想定首都直下地震における住まい再建意向と家計復興モデル (ポスター)	紅谷昇平	地域安全学会大会2011	2011年11月	国内
都市部住民の防災・危機管理に関する意識傾向~ウェブアンケート調査の結果を通じて~	市川宏雄、西村弥、砂子祐年、佐々木一如、飯塚智規	『自治体危機管理研究』第7号	2011年4月	国内
東日本大震災と西日本大震災 (口頭)	牧紀男	日本建築学会パネルディスカッション	2011年8月	国内
これまでの都市防災を再考する-火災からマルチハザードへ- (口頭)	牧紀男	日本建築学会大会研究協議会	2011年8月	国内
Social Problems on Tokyo Metropolitan Earthquake (口頭)	林能成	SCEC-ERI Joint Workshop	2011年12月	国際
マクロ経済、雇用の視点からの首都圏地震を検討する (口頭発表)	永松伸吾	関西大学社会安全学部東京シンポジウム	2011年10月	国内
災害救助法を始めとする災害復興法制の運用と課題 (口頭)	山崎栄一	福島大学災害復興研究所 福島大学行政政策学類棟 大会議室	2011年8月	国内
分科会 法制度・復興財源 (口頭)	山崎栄一 (司会)	日本災害復興学会 明治大学 (報告) 津久井進、永井幸寿、青田良介、豊田利久	2011年10月	国内
災害時要援護者の個人情報をめぐる政策法務-新たな整理・分析枠組みの構築と違法リスクの抽出- (口頭)	山崎栄一	静岡県地震防災センター 山崎栄一、林春男、立木茂雄、田村圭子	2011年11月	国内
自治体における独自施策の現状-災害復興制度研究所アンケートを踏まえて	山崎栄一	災害復興研究 Vol.3 119~140頁	2011年6月	国内
生活再建支援に向けて~災害法制の現状と課題	山崎栄一	消費者情報 No.422 19~21頁	2011年6月	国内
災害時要援護者情報の収	山崎栄一	都市問題 2011年8月	2011年8月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
集・共有と保護		号 82～90頁		
震災と法 支援者に知っておいてほしいこと	山崎栄一	そだちと臨床 Vol.11 2011年10月 148～152頁	2011年10月	国内
東日本大震災を踏まえた被災者救済の課題	山崎栄一	法律時報83巻12号 56～64頁	2011年11月	国内
災害時要援護者の個人情報をめぐる政策法務—新たな整理・分析枠組みの構築と違法リスクの抽出—	山崎栄一	地域安全学会論文集 No.15 313～322頁、 山崎栄一、林春男、立木茂雄、田村圭子	2011年11月	国内
自然災害と個人情報—支援団体への情報提供をめぐる現状と課題	山崎栄一	法律時報84巻1号 104～111頁	2012年1月	国内
自然災害と個人情報—被災者台帳システムの構築と政策法務	山崎栄一	法律時報84巻2号 100～106頁	2012年2月	国内
現地入りは覚悟必要 大分大・山崎栄一准教授に聞く	山崎栄一	大分合同新聞	2011年3月21日	国内
特集：憲法と東日本大震災	山崎栄一	毎日新聞	2011年5月3日	国内
東日本大震災で液化化被害の16市、県に独自支援を要望 負担割合で隔たり / 千葉県	山崎栄一	朝日新聞（千葉首都圏）	2011年5月3日	国内
原発避難死に弔慰金 初適用へ厚労省見解 福島第一原発事故	山崎栄一	朝日新聞	2011年5月7日	国内
生業規定「死文化」現金給付は皆無	山崎栄一	河北新報	2011年5月20日	国内
震災時の行政の対応に提言	山崎栄一	読売新聞（大分版）	2011年5月30日	国内
多重被災 我が家はどこに	山崎栄一	日本経済新聞	2011年6月11日	国内
防災どう取り組む？ 法律を正しく適用	山崎栄一	大分合同新聞	2011年6月11日	国内
避難者への公共サービス 避難先の行政も柔軟対応を	山崎栄一	読売新聞	2011年6月12日	国内
シリーズ 福島の障害者はいま（1）“避難”と言われても…	山崎栄一	福祉ネットワーク（NHK）	2011年7月11日	国内
「県内襲う地震の可能性高まる」	山崎栄一	朝日新聞（大分版）	2011年10月23日	国内
Practical Utilization of Maps to construct Common Operational Pictures in Disaster Response - A Case Study of Eastern Japan Earthquake in 2011 - （口頭）	Takashi FURUYA, Reo KIMURA, Munenari INOBUCHI, Keiko TAMURA and Haruo HAYASHI	Conference of Integrated Research on Disaster Risk, Beijing	2011年11月	国際
Design of Standardized Management System of Victims Master Database for Effective Victims' Life Reconstruction （口頭）	Munenari INOBUCHI, Keiko TAMURA, Ryota HAMAMOTO, Reo KIMURA and Haruo HAYASHI	Conference of Integrated Research on Disaster Risk, Beijing	2011年11月	国際
広域災害時における公的機関の被害・災害対応データの現状と課題 -東北地方太平洋沖地震における避難所避難者データを事例として-	木村玲欧・古屋貴司・井ノ口宗成・田村圭子・林春男	地域安全学会論文集, No.15	2011年11月	国内
緊急地図作成チームにおける効果的な現場型空間情報マッシュアップの実現に向けた提案 -平成23年東北地方太平洋沖地震を事例として-	井ノ口宗成・田村圭子・古屋貴司・木村玲欧・林春男	地域安全学会論文集, No.15	2011年11月	国内
東日本大震災時の買い溜め	松本亜沙香・林春	地域安全学会2011年	2011年11月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
パニック・寄付・物資送付の関連要因に関する研究（口頭）	男・立木茂雄	秋期学術発表会		
東日本大震災時の買い溜めパニック・寄付・物資送付の関連要因に関する研究	松本亜沙香・林春男・立木茂雄	地域安全学会論文集, 15, pp. 463-472	2011年11月	国内
Analysis of Disaster Victims' Decision-Making in the Process of Reconstruction Housing	Kishie Shigekawa, Satoshi Tanaka, and Masasuke Takashima	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Examining the Scheme for Damage Inspection of Non-Wooden Apartment Buildings for Issuing Disaster Victim Certificates	Kaoru Mizukoshi, Yosuke Nakajima, Yoe Masuzawa, Satoshi Tanaka, and Kishie Shigekawa	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Analysis of Description of Local Disaster Management Plan for Smooth and Effective Wide-Area Support System During Large-Scale Disaster	Muneyoshi NUMADA, Shinya KONDO, Masashi Inoue, and Kimiro MEGURO	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Implementation of Demonstration of Information Linkage Supposing the Tokyo Metropolitan Near Field Earthquake Disaster	Yasunori Hada, Shinya Kondo, Kimiro Meguro, Miho Ohara, Shinsaku Zama, Makoto Endo, Keiji Kobayashi, Takeyasu Suzuki, Itsuki Noda, Hiroki Shimora, Ikuo Takeuchi, Satoshi Kobayashi, and Jumpei Arakawa	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Function of Emergency Road Networks During the Post-Earthquake Process of Lifeline Systems Restoration	Gaku Shoji and Ayumi Toyota	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Improvement of Local Capability Under Lifeline Disruptions by Construction of Distributed Self-Sustaining Zone - Based on Research of Disaster Base Hospitals in Tokyo Capital Area	Keiko INAGAKI and Satoru SADOHARA	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
A Basic Study of Open Space Information as Social Infrastructure for Wide-Range Cooperation in Large-Scale Seismic Disaster	Takashi FURUYA, Munenari INOBUCHI, Go URAKAWA, and Haruo HAYASHI	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Economic Recovery Scenario Planning for a Tokyo Inland Earthquake	Shingo Nagamatsu and Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
Ten Years of Pre-Disaster Community Development for Post-Disaster Recovery in	Taro ICHIKO	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Tokyo				
How to Optimize the Urban Recovery After Earthquake Disaster - Preparedness for Recovery from the Next Tokyo Earthquake -	Itsuki Nakabayashi	Journal of Disaster Research, Vol.7 No.2	2012年2月	国際
地方自治体の物資搬送業務の計画と対応の実態（口頭）	近藤伸也・沼田宗純・秦 康範・野田五十樹・末富岩雄・井上雅志・目黒公郎	東京・国立オリンピック記念青少年総合センター・第8回 日本地震工学会 大会	2011年11月	国内
「被災現場，応急救護所，病院，ヘリポート」におけるトリアージ情報の広域的共有（口頭）	沼田宗純・目黒公郎	愛媛大学・平成23年度土木学会年次学術講演会	2011年9月	国内
広域的災害医療情報の収集と共有のためのトリアージシステム（TRACY）の開発と静岡県立総合病院における実践的訓練の実施（口頭）	沼田宗純・大原美保・目黒公郎	東京大学生産技術研究所・第30回日本自然災害学会学術講演会	2011年11月	国内
Application of Triage System (Tracy) to the Drill of the Yamanashi University Hospital,	Muneyoshi NUMADA, Yasunori HADA, Miho OHARA, and Kimiro MEGURO	Japan Society of Civil Enginners (JSCE), Proceedings of the Thirteenth International Summer Symposium, pp.301-304, Uji, Kyoto, Japan.	2011年8月	国際
2011年東日本大震災における緊急支援物資の数量推移に関する研究-仙台市の救援物資を事例として-	早乙女愛・沼田宗純・目黒公郎	土木学会 第31回地震工学研究発表会・東京大学生産技術研究所	2011年11月	国内
静岡県立総合病院におけるトリアージ訓練から得られたトリアージシステム「TRACY」の成果と課題	沼田宗純，大原美保，目黒公郎	生産研究， Vol. 63 ， No. 4 pp.481-484	2011年9月	国内
「TRACY」を用いた被災現場，応急救護所，病院，ヘリポートにおけるトリアージ情報の広域的共有の取組み	沼田宗純，大原美保，目黒公郎	生産研究， Vol. 63 ， No. 4 pp.471-479	2011年9月	国内
Development and Application of triage system (TRACY)	Muneyoshi NUMADA, Yasunori HADA, Miho OHARA, and Kimiro MEGURO	Chiang Mai, Thailand, Proc. of the 10th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia	2011年10月	国際
静岡県立総合病院を中心とした広域的災害医療情報の収集と共有に向けたトリアージ訓練の実施	沼田宗純・大原美保・目黒公郎	地域安全学会論文集， No.15，	2011年11月	国内
首都直下地震における情報連携デモンストラーションの実施	秦康範，近藤伸也，目黒公郎，大原美保，座間信作，遠藤真，小林啓二，鈴木猛康，野田五十樹，下羅弘樹，竹内郁雄，小林悟史，荒川淳平，吉本健一	土木学会論文集F5（土木技術者実践）	2011年5月	国内
緊急パネル討論「大震災と向き合う」	西田豊明，正村俊之，小方孝，野田五十樹	人工知能学会全国大会	2011年6月	国内
災害対策のための情報システム・シミュレーション統合	野田五十樹，山下倫央，下羅弘	平成23年電気学会 電子・情報・システム部	2011年9月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
(口頭)	樹	門大会		
Process Simulation of Triage for Emergency Medicine under Huge Disaster (口頭)	Itsuki Noda, Kana Egawa, Hiroki Shimora, Ikushi Yoda	SICE Annual Conference 2011	2011年9月	国内
災害に強くなるためのサイバーワールド技術最先端 (口頭)	野田五十樹	若手研究者支援のための産学協同GCOE国内シンポジウム	2011年10月	国内
避難シミュレーション (口頭)	野田五十樹, 山下倫央, 依田育士, 大西正輝	第24回計算力学講演会	2011年10月	国内
Collaboration among Medicine, Psychology and Engineering for Disaster Management (口頭)	Itsuki Noda	SSRR-2011 (京都)	2011年11月	国際
Integration of Sensory Data Taken by Multiple Rescue Robots using GIS (口頭)	Hidehisa Akiyama, Hiroki Shimora, Eijiro Takeuchi, Itsuki Noda, Tomohisa Yamashita	SSRR-2011 (京都)	2011年11月	国際
東日本大震災で位置情報技術はどう役立ったのか?	野田五十樹	次世代位置情報サミット2011	2011年11月	国内
減災	野田五十樹	知能と情報 Vol 23, No. 3	2011年6月	国内
減災情報システム	野田五十樹	防災システム Vol. 34, No.1	2011年7月	国内
【震災に立ち向かう産総研の研究者】第2回：通行可能な道、使えるガソリンスタンドをいち早く公開へ	野田五十樹	日経BP Tech-On	2011年6月16日	国内
地震観測記録と広域地盤データをを用いた東京都地盤増幅率の再評価 (口頭)	丸山喜久、伏岡里志、山崎文雄	土木学会第66回年次学術講演会	2011年9月	国内
Estimation of damage ratios of wooden houses and water distribution pipelines in an earthquake scenario for the Tokyo metropolitan region (口頭)	Yoshihisa Maruyama, Fumio Yamazaki	2011 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM' 11+)	2011年9月	国際
広域被害予測に基づく東京湾北部地震における上水道管と木造建物被害の相関性 (口頭)	丸山喜久、山崎文雄	第31回土木学会地震工学研究発表会	2011年11月	国内
Estimation of crustal movement due to the 2011 Tohoku, Japan Earthquake from TerraSAR-X intensity images (口頭)	Wen Liu, Fumio Yamazaki	9th International Workshop on Remote Sensing for Disaster Response	2011年9月	国際
都市基盤データに基づく上水道管路延長分布の推定	小林朋美、山崎文雄、永田茂	地域安全学会論文集、No. 15	2011年11月	国内
バックアップ効果を考慮した地震時ライフライン機能停止の影響評価 (口頭)	能島暢呂・岡田大知	第66回土木学会年次学術講演会	2011年9月	国内
東日本大震災における供給系・通信系ライフラインの復旧概況 (口頭)	能島暢呂	地域安全学会第28回研究発表会 (春季)	2011年5月	国内
東日本大震災における供給系ライフラインの被害と復旧 (口頭)	能島暢呂	第3回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシン	2011年12月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
		ポジウム		
事業者と利用者の対策効果を考慮した供給系ライフラインの地震時機能停止の影響評価モデル	能島暢呂	地域安全学会論文集 No. 15	2011年11月	国内
東日本大震災のライフライン復旧にみる災害対応オペレーション	能島暢呂	オペレーションズ・リサーチ	2011年12月	国内
ライフラインの地震時応急復旧活動における広域応援の効率性評価～道路ネットワークを介した配電設備の応急復旧活動に対するケーススタディ～(口頭)	豊田安由美、庄司学	第3回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム	2011年12月	国内
Modeling of Restoration Process associated with Lifeline Systems and the Interdependency due to a Seismic Disaster	Shoji, G. and Toyota, A.	Applications of Statistics and Probability in Civil Engineering eds by M. H. Faber, J. Köhler and K. Nishijima, Taylor & Francis Group, London, ISBN 978-0-415-66986-3, pp. 1867-1875	2011年8月	国際
地震災害時における道路ネットワークの機能が配電設備の応急復旧活動に及ぼす影響	豊田安由美、庄司学	地域安全学会論文集, No. 15, pp. 169-178	2011年11月	国内
災害拠点病院における商用電源停電時の課題と対策ー首都圏の計画停電をふまえてー(口頭)	稲垣景子, 佐土原聡	日本建築学会・シンポジウム「東日本大震災からの教訓、これからの新しい国づくり」	2012年3月	国内
災害拠点病院における計画停電の影響と対応(口頭)	稲垣景子, 佐土原聡	土木学会「第3回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム」	2011年12月	国内
首都圏の災害拠点病院におけるエネルギー・給水設備の現状調査	稲垣景子, 藤田寛之, 岡西靖, 佐土原聡	日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, pp. 861-862	2011年8月	国内
横浜市における建物間熱融通のポテンシャル(既成市街地における建物間エネルギー融通システムに関する研究 その7)	崔錦丹, 佐土原聡, 吉田聡, 緒方隆雄, 渡部洋介, 進士誉夫	日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, pp. 971-972	2011年8月	国内
建物間エネルギー融通の簡易評価シミュレーションモデルの改良(既成市街地における建物間エネルギー融通システムに関する研究 その6)	吉田聡, 崔錦丹, 佐土原聡, 緒方隆雄, 渡部洋介, 進士誉夫	日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, pp. 973-974	2011年8月	国内
太陽エネルギーを活用した建物間エネルギー融通に関する研究	白石ひろ子, 佐土原聡, 吉田聡, 工月良太, 市川徹, 崔錦丹	日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1, pp. 977-978	2011年8月	国内
首都直下地震における下水道施設被害と応急復旧戦略に関する検討	永田 茂	アーバンインフラ・テクノロジー推進会議第23回技術研究発表会論文集	2011年9月	国内
首都直下地震における9都府市の上下水道の被害と応急復旧日数の検討	永田茂・丸山喜久・庄司学	土木学会第3回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム論文集	2011年12月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
特集ITを駆使した震災対応ライフラインの被災シミュレーション	永田 茂	日経コンストラクション	2011年6月27日号	国内

4.5.2 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定等

4.5.2.1 特許出願

・なし

4.5.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
被害認定調査支援システム	建物被害認定調査の研修に必要となる情報や、調査現場での結果の記録及び結果算出を可能とした被害認定調査支援システム。モバイル機器には、アップル社の iPad を採用し調査業務全体の効率化を図る。
「すまい再建シミュレーション」システムの開発	将来人口を踏まえて首都直下地震における住宅の必要再建戸数の想定するためのシミュレーションシステム
ガイドライン準拠支援ツール	避難所情報の TSV 形式から KML 形式への変換、および住所情報から緯度経度へのジオコーディングを行う。
被災者生活再建支援サービス台帳ベータ版～情報セキュリティ対応版	被災者の生活再建支援業務を被災者台帳の基盤部分を用いて実施する。
被災者生活再建支援サービス台帳ベータ版～生活対応業務支援ツール導入版	被災者の生活再建支援業務を被災者台帳の基盤部分を用いて実施する。
被災者生活再建支援サービス台帳ベータ版～ネットワーク重層化対応版	被災者の生活再建支援業務を被災者台帳の基盤部分を用いて実施する。

4.5.2.3 仕様・標準等の策定

・なし